

- NPO基盤強化資金助成 助成先決定、贈呈式の開催
- 自動車購入費助成 贈呈式の開催
- 助成先訪問 「特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク」
- 海外助成 助成先決定
- 第19回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞および奨励賞の決定

発行者 公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン日本興亜本社ビル TEL: 03-3349-9570 FAX: 03-5322-5257

http://www.sjnkwf.org/ Eメール: office@sjnkwf.org

2017年度

vol. **3**

NPO基盤強化資金助成 助成先決定、贈呈式の開催

NPOの活動基盤強化に必要な資金を支援する事業「NPO基盤強化資金助成」の助成先を決定しました。3つのプログラムを合わせて61団体（約2,160万円）に助成金を贈呈します。

※主に子ども（障害児など）を対象として活動を行っている17団体（下表団体名に★）への助成金には、損害保険ジャパン日本興亜グループの社員の毎月の給与から集められる「ちきゅうくらぶ社会貢献ファンド」からの寄付金400万円を活用させていただきました。

「住民参加型福祉活動資金」助成先決定

全国で2017年9月から10月にかけて公募したところ、163件の応募をいただきました。

地域住民が主体となって、組織的かつ継続的にボランティアな活動に取り組んでいるかなどを基準に、以下の20団体に総額580万円の助成を決定しました。

所在地	団体名	助成する事業の概要	所在地	団体名	助成する事業の概要
北海道	特定非営利活動法人 陽だまりの家	陽だまりお助け隊（働いていない若者の社会参加活動）	滋賀県	ボランティアグループ きずな	認知症予防と多世代交流活動
岩手県	Home of Wisdom ★	手芸・クラフトをツールとした住民主体の被災地コミュニティ再生	滋賀県	西黒田きんたろう サポート会	不便を感じている日常生活における課題を解決する（買い物ツアー）
埼玉県	特定非営利活動法人 ユーアイネット柏原	住民が希望と自信と誇りを持って、安心して暮らせるまちづくり事業	兵庫県	房王寺さくら会 家事生活支援	家事生活支援、生きがい教室、配食サービスおよびフリーマーケット
東京都	りぷりんとフレンズ・ いたばし	講演会「絵本をめぐる今を語る」の実施、および大型絵本の購入	兵庫県	ボランティアはなぞの 西明石サポーティング ファミリー	障害者・高齢者・要支援者・子ども・認知記憶症候群のコミュニケーション
東京都	特定非営利活動法人 介護サポーターズ 国分寺	有償ボランティア活動「くらしネット」	島根県	ひえばらお助けマン 互助会	ひえばらお助けマン互助会体制整備
東京都	特定非営利活動法人 ハーフタイム ★	葛飾区立石地区における生きづらさを抱えた子どもの居場所づくり	岡山県	みどりヶ丘 イキイキグループ	みどりヶ丘イキイキ拠点推進活動
東京都	特定非営利活動法人 狛江子ども食堂 ★	子ども食堂	広島県	にこにこ 日来ら始	Tiny Dining ～小さな厨（くりや）～
山梨県	一宮町生活支援 ボランティアの会	生活支援活動	広島県	三庄のおうち ★	地域で子育て、育てあい、育ちあい事業「三庄のおうち」
岐阜県	特定非営利活動法人 阿木ふるさと福祉村	地域のコミュニティ場の整備と高齢者の見守り配食の備品購入	熊本県	NPO法人 対話する市民後見 くまもとカタルパ	老人会などの小規模団体に勉強会をし、市民後見人の実現を目指す
静岡県	遊水匠の会	高齢者居場所街角サロン 新規出店2号店 たまりば・一休	宮崎県	都城・三股農福連携 協議会	地域で育む、地域の世代間交流スペースの創出

「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成先決定

西日本地区で、2017年9月から10月にかけて公募したところ、89件の応募をいただきました。団体の基盤強化に大きく貢献すること、地域課題の解決に大きく貢献することなどを基準に、以下の21団体に総額982万円の助成を決定しました。

所在地	団体名	助成する事業の概要	所在地	団体名	助成する事業の概要
京都府	特定非営利活動法人 京都DARC	農作業による就労支援から生まれる地域との共生	岡山県	特定非営利活動法人 志塾フリースクール岡山 ★	支援プログラムの拡大と充実、「活動支援」と「出口支援」の強化
大阪府	特定非営利活動法人 Homedoor	認定NPO法人として適切な寄付者対応を行うための地盤強化事業	広島県	特定非営利活動法人 アニマルセラピー協会	教本の作成・研修によるスタッフのモチベーションの維持をはかる
大阪府	特定非営利活動法人 こえとことばと こころの部屋	釜ヶ崎芸術大学・大学院アーツマネジメントプロフェSSIONAL事業	愛媛県	特定非営利活動法人 えひめ心のつばさ ★	学校に行けない子ども・社会参加できない青年の社会復帰支援の広報
大阪府	特定非営利活動法人 ほのぼのステーション	「地域の介護交流ひろば」をつくる	福岡県	特定非営利活動法人 ISC糸島スポーツクラブ	福祉人財ネットワーク構築プロジェクト(理論講習、実践体験)
大阪府	特定非営利活動法人 メリーミーズ ★	児童養護施設出身の子ども達のサポーターを増やす事業	福岡県	特定非営利活動法人 九州大学こころと そだちの相談室	不登校の児童生徒およびその保護者への臨床心理サービスの拡充
大阪府	特定非営利活動法人 ライフサポート 大阪	袋物キッド作成と同ネット販売への展開事業	長崎県	特定非営利活動法人 ほほえみながさき	移動支援に従事する運転者の育成と、新たな運転ボランティアの拡充
千葉県	特定非営利活動法人 日本病院ボランティア 協会	つなごう病院ボランティア ひろげよう病院ボランティア	熊本県	NPO法人 誠桜の樹 ★	看板設置による広報の強化とそれによる周辺の防犯対策
兵庫県	特定非営利活動法人 ヘルパーGOGO	採用力向上を目的としたホームページの開設	鹿児島県	特定非営利活動法人 ビッグハート	工賃アップの為にシール機購入事業
兵庫県	特定非営利活動法人 心幸	福祉有償運送車両運賃メーター整備事業(運転代行メーター購入)	鹿児島県	特定非営利活動法人 ともいき	研修等における視覚的機材の購入
兵庫県	特定非営利活動法人 東灘地域助け合い ネットワーク	情報発信をツールとした地域の連携強化事業 (イベント開催)	沖縄県	特定非営利活動法人 沖縄県自立生活 センター・イルカ	インクルーシブ教育モデル事業推進に向けた障害のある事務局員配置
岡山県	特定非営利活動法人 シルバーライフ サポートもも	福祉有償旅客運送事業(広報活動の強化)			

贈呈式の開催

首都圏、関西地区では、合同贈呈式を開催しました。また、損害保険ジャパン日本興亜(株)の各支店のご協力で、各地で助成金の贈呈式を開催しています。(各地の様子は次号に掲載予定です。)

首都圏贈呈式【1月29日損害ジャパン日本興亜本社で開催】
(東京、埼玉、山梨、)の12団体が参加



関西地区贈呈式【1月25日・1月26日の2日間に分けて損害ジャパン日本興亜大阪ビルで開催】
(大阪、兵庫、京都、滋賀)の18団体が参加

「認定NPO法人取得資金」助成先決定

全国で、2017年9月から10月にかけて公募したところ、47件の応募をいただきました。地域課題解決への貢献度、認可取得に対する取り組みの進捗、「認定NPO」の活用方法などを基準に、以下の下記記載の20団体に1団体30万円、総額600万円の助成を決定しました。

所在地	団体名	団体の主な活動内容	所在地	団体名	団体の主な活動内容
北海道	特定非営利活動法人 子どもと文化のひろば ぷれいおん・とかち ★	あそびや文化体験を通じての地域文化環境づくり、子育て支援	新潟県	特定非営利活動法人 UNE	高齢者の農園芸作業などを通じての自立支援、居場所づくり
岩手県	特定非営利活動法人 盛岡ユースセンター★	不登校の子どもたちが教育を受けられるようなサポートと環境づくり	静岡県	特定非営利活動法人 静岡市障害者協会	障害者の権利擁護、生活支援、福祉啓発、障害者団体の活動支援
岩手県	特定非営利活動法人 キツキネットワーク 岩手	健康寿命を延ばすために、知徳体食美を学ぶ講演会、カフェ等を開催	愛知県	特定非営利活動法人 ひょうたんカフェ	織り、豆腐、おからドーナツ等のものづくりで障害者と社会をつなぐ
宮城県	特定非営利活動法人 STORIA ★	貧困の子どもたちに居場所を提供し、子どもと家庭へ包括的な支援	京都府	特定非営利活動法人 よのなか塾 ★	生活困窮家庭、ひとり親家庭、不登校の子どもたちへの学習支援
東京都	特定非営利活動法人 人身取引被害者サポートセンター ライトハウス	人身取引、女性や子どもへの暴力をなくすための相談支援、予防・啓発	大阪府	NPO法人 CPAO ★	子どもたちの「まずは、ごはん！」を中心に、子育てを支援
東京都	特定非営利活動法人 全国脊髄小脳変性症・ 多系統萎縮症友の会	患者、家族に対して交流の場を提供し、認識を深め医療の増進をはかる	大阪府	特定非営利活動法人 あわじ寺子屋 ★	子どもの貧困と虐待の連鎖を解決するための居場所提供と学習支援
東京都	特定非営利活動法人 ReBit	LGBT問題の教育と相談支援、居場所づくり	大阪府	特定非営利活動法人 児童虐待防止協会 ★	子どもへの虐待防止のための電話相談、地域支援、グループケア
東京都	特定非営利活動法人 しんぐるまざあず ふおーらむ	シングルマザーが子どもと生きるための就労、子育て支援	兵庫県	特定非営利活動法人 こむの事業所	障害者の就労支援に取り組み、困難を抱える人たちの働く場をつくる
東京都	特定非営利活動法人 八王子つばめ塾 ★	経済的な困難を抱える家庭の子どもへの学習支援、教育相談	山口県	特定非営利活動法人 まなびデザインラボ★	不登校生徒に教育を提供するフリースクールを開校
東京都	特定非営利活動法人 両全トウネサーレ	精神障害者に対する自立支援・障害者福祉に関する研究調査	鹿児島県	特定非営利活動法人 フードバンクかごしま	フードバンク活動を通じて食品ロス削減の啓発や災害支援を行う

2017年度 自動車購入費助成 贈呈式の開催

財団理事長の代理として、贈呈先の管轄となる損害保険ジャパン日本興亜(株)の各支店長が障害者福祉団体への助成金の贈呈式を開催しました。贈呈先からは、「車両の増加により、スタッフ一同どんな対応もできるという精神面の余裕ができました。」「事業実施体制が改善されました。」などの声をいただきました。

青森支店



(須藤さん)

購入されたお車を間近で見ながら、ご活用いただいていると伺って、とても嬉しく思いました。当日は会えませんが、乗っている子どもたちが笑顔でいてくれたらいいなと願っています。

理事長からもいろいろなお話を伺うことができ、勉強になるとともに非常に楽しい時間を過ごすことができました。



〈特定非営利活動法人 笑楽生〉

長野支店



〈特定非営利活動法人 介護屋つむぎ〉

名古屋支店



〈特定非営利活動法人 夢ひろば〉

名古屋支店



〈特定非営利活動法人 アジャスト〉

群馬支店



〈特定非営利活動法人 群馬リカバリーネット〉

北東京支店



〈特定非営利活動法人 かいとー〉

仙台支店



〈特定非営利活動法人 セミナーレ〉

2017年度 海外助成 助成先決定

本年度で8年目となる海外助成を、ASEAN加盟国またはインドで募集しました。地域の課題解決につながるプログラムを行う、以下6団体に合計約480万円の助成を決定しました。各地で贈呈式を開催しています。

国	団体名	助成金の使途	助成金額
インドネシア	Lembaga Keswadayaan Masyarakat Panca Karya (LKM パンチャ カルヤ)	農産物生産における加工技術トレーニングや、観光事業における技術トレーニングなどを実施する多目的訓練所を建設する。	100,000,000IDR (約83万円)
マレーシア	Kiwanis Down Syndrome Foundation	就学前のダウン症幼児施設での屋外庭園の整備を通じ、自然とふれあい活動する場の提供をする。	30,000MYR (約83万円)
マレーシア	Yayasan Generasi Gemilang	貧困の連鎖を生み出さないよう、貧困家庭の児童に教育・食事・制服等の提供をする。	30,000 MYR (約83万円)
ミャンマー	Disabled People's Development Organization (DPDO)	障害者の日常生活を補助する補装具の購入や、その他日常生活支援および情報提供など社会参加に対する支援を行う。	8,210,000MMK (約68万円)
フィリピン	Gawad Kalinga Community Development Foundation, Inc.	貧困層の自立化を目指し、ストリートキッズや紛争地域、公立学校の子どもたちに対して栄養価の高い昼食などを食料支援する。	382,500PHP (約86万円)
シンガポール	Muscular Dystrophy Association (Singapore) (MDAS)	筋ジストロフィー患者向けに毎日の学校通学と定期的な病院での検診が受けられるよう、特殊車両の手配を支援する。	10,000SGD (約84万円)

助成先訪問 「特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク」



2016年度「認定NPO法人取得資金」助成先の「特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク」は地域の子どもを地域で育てるための遊び場づくり、無料学習支援および子ども食堂などを運営しているNPOです。こども食堂では食事の提供だけでなく、子どもから大人まで交流がうまれたり、悩みを抱える方々へ必要に応じて専門家を紹介するなど、地域におけるネットワークとしての機能を果たしています。「この広がりや、やがてまちづくり、防犯防災、未病対策、肥満対策、自殺防止、犯罪防止等、様々な社会問題の気づき、解決へと発展すると思います。(栗林理事長談)」



子ども食堂の様子

◆第19回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞および奨励賞の決定

社会福祉に関する優れた学術文献を表彰する「第19回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」の受賞文献を決定しました。2018年3月1日には損害保険ジャパン日本興亜(株)本社ビルにて贈呈式を開催する予定です。また、2018年7月7日には、グランドアーク半蔵門(東京都千代田区)において受賞者による講演会とシンポジウムを開催する予定です。

(講演会・シンポジウムの詳細は、当財団ホームページに記載いたしますのでご覧ください。)

◆受賞著書：『福祉政治史—格差に抗するデモクラシー—』

(株式会社 勁草書房 2017年2月発行)

受賞者：田中 拓道氏 (一橋大学大学院社会学研究科 教授)

受賞者プロフィール

1995年国際基督教大学教養学部社会科学科卒業、1999年フランス社会科学高等研究院政治研究科DEA課程修了、2001年北海道大学大学院法学研究科公法学専攻博士後期課程単位取得退学。2003年博士(法学)。北海道大学大学院法学研究科専任講師、新潟大学法学部助教授などを経て、現在、一橋大学大学院社会学研究科教授。



【損保ジャパン日本興亜福祉財団奨励賞の贈呈】

損保ジャパン日本興亜福祉財団賞の審査過程で、財団賞には及ばないものの、優れた著作(佳作)であると評価された、特に若手の著者を対象とした損保ジャパン日本興亜福祉財団奨励賞の受賞を決定しました。

◆著書名：『里親であることの葛藤と対処—家族的文脈と福祉的文脈の交錯—』

受賞者：安藤 藍氏 (首都大学東京都市教養学部都市教養学科人文・社会系 助教)

出版：株式会社 ミネルヴァ書房 2017年2月発行

◆著書名：『〈自立支援〉の社会保障を問う—生活保護・最低賃金・ワーキングプア—』

受賞者：桜井 啓太氏 (名古屋市立大学大学院人間文化研究科 講師、大阪市立大学人権問題研究センター 特別研究員)

出版：株式会社法律文化社 2017年2月発行